

株式会社南紀白浜エアポート

2018年12月27日

南紀白浜空港にサイクリストに優しいスペース・設備を設置 「サイクリストに優しい空港」へ

株式会社南紀白浜エアポート（和歌山県西牟婁郡白浜町、代表取締役社長：岡田 信一郎、以下：南紀白浜エアポート）は、和歌山県が推進するサイクリング王国わかやま「WAKAYAMA 800」の活動に共感・賛同し、サイクリングを通じ和歌山の魅力を知ってもらうべく、空港ターミナル屋外にサイクリストに優しいスペース・設備を本日設置しました。

これにより、南紀白浜空港は和歌山県より「サイクリストに優しい空港」として認定を受ける予定です。

【サイクリストに優しいスペース・設備の内容】

- (1) バイクラックの設置（使用無料）
- (2) 空気入れ（仏式バルブ対応）の設置（使用無料）
- (3) 自転車用工具セットの貸し出し（ターミナルビル3F南紀白浜エアポート事務室での受付・貸し出し。使用無料）
- (4) 着替えコーナーの設置（ターミナルビル2F。授乳室（女性）、多目的トイレ（男性）と共用。使用無料）
- (5) 自転車運搬・收容用のケース類（バッグ・段ボール等）の一時預かり（予定。有料）



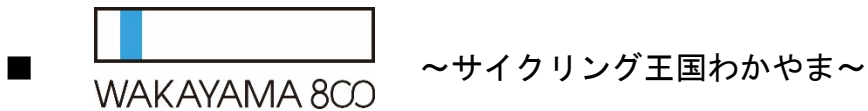
なお、バイクラックは、熊野本宮大社のご厚意による寄贈品です。

社殿の千木を表現した作りになっており、ターミナル1F到着口に掲げられた熊野本宮大社寄贈の「えと絵馬」とあわせ、熊野古道・熊野本宮大社への玄関口としての南紀白浜空港を印象づけるものです。

■株式会社南紀白浜エアポートについて

南紀白浜エアポート (<http://shirahama-airport.jp/>) は、南紀白浜空港の民営化にともない株式会社経営共創基盤・株式会社みちのりホールディングス・株式会社白浜館の出資により設立された空港運営会社です。

南紀白浜空港の安全・安心かつ生産性の高い運営や顧客満足・利便性の向上に努めるとともに、「空港型地方創生」というコンセプトを掲げ、地域の魅力発信や地域への誘客活動を通じた交流人口の増大による地域の活性化にも貢献してまいります。



和歌山県及び和歌山県観光連盟では、以下の事業を展開

- (1) 海・山・川の変化に富んだ800kmを超えるサイクリングロード（ブルーライン）を県内全域に整備し、あらゆるレベルのサイクリストに対応する無限大のコースと楽しみ方を提供
- (2) ロードを走るだけでなく、「世界遺産」や「日本遺産」、「絶景」や「温泉」など、豊富な観光資源と結びつけることで、他の都道府県・地域にはない“和歌山ならではの”サイクリングの魅力を発信。
- (3) 「サイクルステーション」や「サイクリストに優しい宿」など、「旅」と「サイクリング」を融合させた環境を整備
- (4) 今年11月には、伝説のサイクリスト「アルベルト・コンタドール」氏を招聘し、「WAKAYAMA800」の魅力を全世界へ発信

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社南紀白浜エアポート 広報・
マーケティング

電話:0739-43-0095